

# 災害に備えよう

地震などの災害が発生したとき、多くの人が救助を求める事態になる可能性があり、市や警察などの公的な機関だけで全ての命を救うことはできません。

特に重度の障害があるかたは、停電で人工呼吸器が使用できない、ひとりでは助けを呼びに行くことができないなど、様々な事態が考えられます。そのような事態に対応するためには、日頃から災害に備えておくことが非常に大切です。



## 1. 自治会に加入しましょう

災害後の素早い安否確認は非常に大切です。大災害が発生した場合、障害の有無に関わらず、最初に自治会での安否確認が行われます。より早く支援が必要なかたこそ、自治会加入が大切です。

自治会の加入については市民サービス政策室自治会係へ(電話:724-6179 ファクス:723-5538)。



## 2. 地域の人と顔の見える関係を築きましょう

災害発生時は、地域での助け合いが欠かせません。ふだんから地域の人と顔の見える関係を築きましょう。

市では、以下のかたを対象として「避難行動要支援者名簿」を作成し、災害発生時に地域の「避難支援等関係者」が、自ら避難することが難しいかたの避難支援を行う体制づくりを進めています。

- ・身体障害者手帳1・2級のかた
- ・療育手帳A判定のかた
- ・精神障害者保健福祉手帳1級のかた
- ・要介護1・2で独居のかた
- ・要介護3・4・5のかた
- ・その他希望されるかた

また、事前に同意いただいたかたについては、名簿をあらかじめ「避難支援等関係者」に提供し、日常的な見守り活動に活用いただくこととしています。

地域の助け合いの関係づくりのため、事前同意にご協力ください。

### 問合せ窓口

名簿の活用に関すること…市民安全政策室(電話:724-6750 ファクス:724-6376)

名簿の登載(高齢者・障害者)に関すること…高齢福祉室(電話:727-9505 ファクス:727-3539)

障害福祉室(電話:727-9506 ファクス:727-3539)

### 3. 備蓄品を準備しましょう



各自で毎日  
使うものを  
準備しましょう

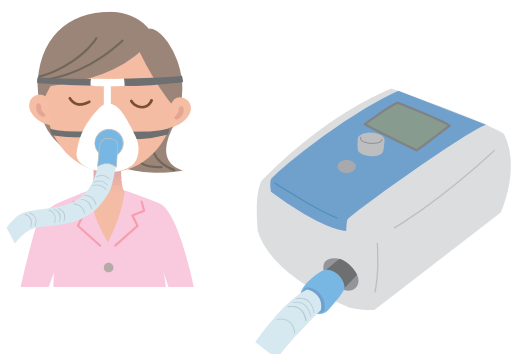
大規模災害発生後も、家が無事なら住み慣れた自宅  
でライフラインの復旧を待つのが一番です。そのため  
に、自宅には3日分の水や食糧を備蓄しておきましょう。  
また、障害特性に対応した医薬品や日用品も、少なくと  
も1週間分を各自で備蓄しておきましょう。

また、いつでも避難できるよう、備蓄品の一部をリュッ  
クに入れた“非常用持ち出し袋”を作っておきましょう。

※避難所には障害特性に対応した物資や医薬品は備  
蓄されていません。必ず各自で備蓄しておいてくだ  
さい。

### 例えば… こんな備蓄品を準備しておきましょう

#### ☐ 人工呼吸器用具一式

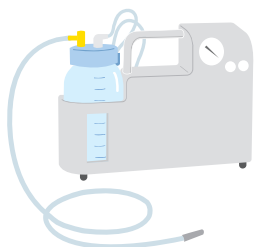


#### ☐ 停電対策用品（予備のバッテリーなど）

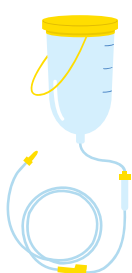
停電時や避難所へ避難した際など、災害後は十分に  
電力を使用できない場合があります。人工呼吸器な  
ど電力を使用する場合は、予備の外部バッテリー、イン  
バータ（外部バッテリーと機器をつなぐときに使用する  
もの）、自家発電機などを準備しておき、各自でも対  
応できるようあらかじめ準備をしておいてください。



#### ☐ 吸引用具一式



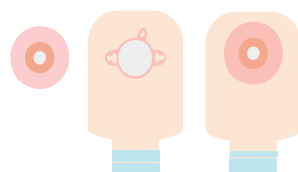
#### ☐ 経管栄養用具一式



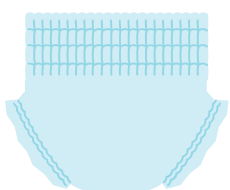
#### ☐ 酸素ボンベ（予備）



#### ☐ ストーマ用品一式



#### ☐ 紙おむつ



#### ☐ 常用薬



#### ☐ お薬手帳や処方箋の コピー（常用薬の処方 内容がわかるもの）



#### ☐ 特別なケアを必要と されるかたは、ケアの 注意事項の記録など



## 4. 情報を入手しましょう

パソコンやケータイに情報を配信します

### 市民安全メール

- 災害発生時のお知らせ
- 避難所の情報



他にも…こんなお知らせ

治安  
感染症の流行など



### 市民安全X

箕面市市民安全政策室が、安全・安心に関する情報をみなさまに発信する市公式Xです。

アカウント  
@Minoh\_Anzen



●●～●●交差点間の道が倒木のため通行止めとなっています。

### 大阪防災アプリ

- 地震・津波情報
- 避難関係（避難指示等、避難所開設情報及び混雑状況、避難所までの経路）
- 気象関係（気象警報等、台風情報、線状降水帯発生情報等）
- その他（防災カメラからの画像、ハザードマップ等の防災マップ、鉄道やライフラインの状況、熱中症警戒アラート情報、国民保護情報等）



### おおさか防災ネット



- 緊急情報
- 避難場所
- 地震 ●津波
- 台風

など幅広い防災情報を提供しています！



避難所はどこ？



避難所は、  
お住まいの校区の小学校です。  
なお、萱野北小校区のかたは第二中学校へ、北小校区のかたはメイプルホールへ避難してください。



### 危険エリアの確認を！

市では、「防災マップ」を全戸配布しています。「防災マップ」で、自宅が災害発生のおそれがある区域（危険エリア）に含まれていないか確認しましょう。市ホームページで公開している「地図情報サイト みのおマップ」でも防災マップ関連情報を検索できます。



### 市民安全LINE

箕面市市民安全政策室が、安全・安心に関する情報をみなさまに発信する市公式のLINE@です。

ID:@minohcity



## 災害が発生したら

### 地震が発生したら・・・

- ① テーブルの下で身の安全を確保
- ② 家の中でも靴を履き、出口を確保する
- ③ ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とすなど家の中の安全を確保する
- ④ 家族が全員無事であれば、黄色いハンカチを玄関先に出す
- ⑤ ご近所の無事を確認する

家が無事なら  
(倒壊・火災の危険性がないなら)



自宅で、ライフラインの復旧を待ってください。



家が危険なら  
(家が倒壊しそう・周囲で火事が起きている等)



避難所へ避難してください。



Q 障害のある人も普通の避難所に避難するの？



A 避難の際、障害の有無にかかわらず、まずは通常の避難所に避難してください。その後、障害の状況や必要とするケアの重さなどに応じて、福祉避難所や医療機関に移っていただく場合があります。

### 大雨が降り続いたら・・・

#### ① 雨対策の基本は情報収集から

大雨の最新情報をテレビやラジオ(タッキー816みのおFM)、インターネットなどで常に確認しましょう。



#### ② 市からのお知らせに注意

避難などに関する市からのお知らせは…



FMラジオ81.6MHz

防災スピーカー  
(公園等に設置されている大型スピーカー)

市民安全メール

市ホームページの緊急情報

市民安全X

市民安全LINE

#### ③ 避難するとき

避難するとき・どうしても出けなくてはならないときは以下に注意して避難してください。

- 冠水した道路上ではマンホールのふたが外れていることもあるので近づかない。
- 風で傘が飛ばされ危険なのでなるべくレインコートに。

